

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2008年2月18日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨建ての債券へ実質的に投資することにより、安定したインカム収入の確保とともに信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 高金利通貨マザーファンド 世界の高金利通貨建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>■高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨を複数選定し、原則として選定した通貨建ての債券へ実質的に投資することにより、安定したインカム収入の確保を目指します。</p> <p>■投資する債券は、選定した通貨建てのソブリン債（国債、政府機関債、国際機関債等）を中心とします。</p> <p>■実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いません。</p>
組入制限	<p>当ファンド</p> <p>■株式への実質投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>高金利通貨マザーファンド</p> <p>■株式への投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>■毎月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

高金利通貨オープン

【愛称：ワールドエイト】

【運用報告書(全体版)】

第30作成期（2022年8月16日から2023年2月14日まで）

第 173 期 / 第 174 期 / 第 175 期
 決算日2022年9月14日 決算日2022年10月14日 決算日2022年11月14日

第 176 期 / 第 177 期 / 第 178 期
 決算日2022年12月14日 決算日2023年1月16日 決算日2023年2月14日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨建ての債券へ実質的に投資することにより、安定したインカム収入の確保とともに信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

高金利通貨オープン【愛称：ワールドエイト】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 配 込 期 騰 落 中 率			公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額 総
		分 配	金	騰 落		
	円		円		%	百万円
149期 (2020年9月14日)	3,768		20		90.9	2,787
150期 (2020年10月14日)	3,708		20	△ 1.1	91.9	2,719
151期 (2020年11月16日)	3,790		15		92.6	2,759
152期 (2020年12月14日)	3,843		15		91.8	2,745
153期 (2021年1月14日)	3,865		15		89.5	2,711
154期 (2021年2月15日)	3,952		15		90.2	2,744
155期 (2021年3月15日)	3,957		15		89.2	2,734
156期 (2021年4月14日)	3,872		15	△ 1.8	87.1	2,652
157期 (2021年5月14日)	3,966		15		89.6	2,711
158期 (2021年6月14日)	4,022		15		90.4	2,722
159期 (2021年7月14日)	3,925		15	△ 2.0	92.2	2,648
160期 (2021年8月16日)	3,890		15	△ 0.5	92.4	2,614
161期 (2021年9月14日)	3,956		15		93.7	2,618
162期 (2021年10月14日)	3,926		15	△ 0.4	94.3	2,581
163期 (2021年11月15日)	3,878		15	△ 0.8	93.9	2,524
164期 (2021年12月14日)	3,637		15	△ 5.8	93.9	2,348
165期 (2022年1月14日)	3,705		15		92.2	2,380
166期 (2022年2月14日)	3,760		15		93.6	2,378
167期 (2022年3月14日)	3,794		15		94.1	2,389
168期 (2022年4月14日)	4,103		15		96.1	2,534
169期 (2022年5月16日)	3,995		15	△ 2.3	91.2	2,443
170期 (2022年6月14日)	4,085		15		92.0	2,480
171期 (2022年7月14日)	4,098		15		93.6	2,477
172期 (2022年8月15日)	4,125		15		94.7	2,467
173期 (2022年9月14日)	4,317		15		95.6	2,556
174期 (2022年10月14日)	4,204		15	△ 2.3	94.9	2,479
175期 (2022年11月14日)	4,107		15	△ 2.0	94.9	2,409
176期 (2022年12月14日)	4,041		15	△ 1.2	95.1	2,338
177期 (2023年1月16日)	3,936		15	△ 2.2	95.8	2,259
178期 (2023年2月14日)	3,994		15		97.0	2,266

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		公 社 比 率
			騰 落	率	
第173期	(期 首) 2022年 8月15日	円		%	%
	8月末	4,125		—	94.7
		4,186		1.5	94.6
第174期	(期 末) 2022年 9月14日			5.0	95.6
	(期 首) 2022年 9月14日			—	95.6
	9月末	4,317		△ 3.5	95.7
第175期	(期 末) 2022年10月14日			△ 2.3	94.9
	(期 首) 2022年10月14日			—	94.9
	10月末	4,204		1.2	95.0
第176期	(期 末) 2022年11月14日			△ 2.0	94.9
	(期 首) 2022年11月14日			—	94.9
	11月末	4,107		0.3	94.5
第177期	(期 末) 2022年12月14日			△ 1.2	95.1
	(期 首) 2022年12月14日			—	95.1
	12月末	4,041		△ 2.2	95.3
第178期	(期 末) 2023年 1月16日			△ 2.2	95.8
	(期 首) 2023年 1月16日			—	95.8
	1月末	3,936		1.9	95.7
	(期 末) 2023年 2月14日			1.9	97.0

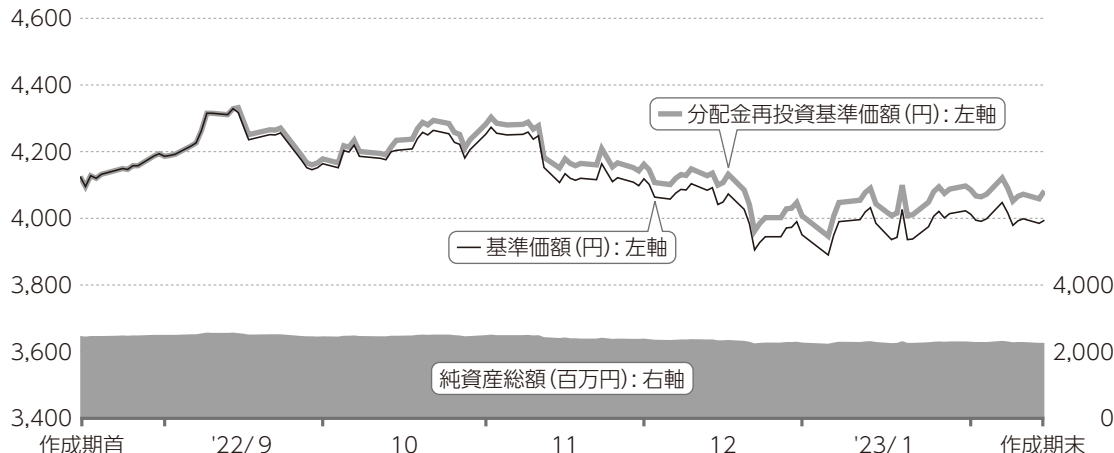
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,125円
作成期末 (当作成期既払分配金90円(税引前))	3,994円
騰落率 (分配金再投資ベース)	-1.0%

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

当ファンドは、高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨を複数選定し、原則として選定した通貨建ての債券へ実質的に投資しました。

上昇要因

- 実質的に保有している債券からインカム収入を得たこと

下落要因

- 債券市場が概ね下落(金利が上昇)したこと
- 為替市場が対円で概ね下落したこと

投資環境について(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

期間における債券市場は概ね下落しました。また、為替市場は対円で概ね下落しました。

債券市場

実質的な組入国の債券市場は概ね下落しました。主要中央銀行のインフレ抑制姿勢や新興国における政策金利の引き上げサイクルの進展などが、新興国の金利上昇圧力となりました。しかしその後は、急速な金融引き締めが景気減速につながるとの懸念やインフレのピークアウトが意識されたことで、金利は低下する場面もみられました。

為替市場

実質的な組入国の為替市場は、日本銀行による緩和的な金融政策を背景に円が下落したものの、その後日本銀行が長期金利の許容変動幅の変更を発表したことを受けて円高となり、対円で概ね下落しました。

ポートフォリオについて(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

当ファンド

主要投資対象である高金利通貨マザーファンドを期間を通じて高位に組み入れました。

高金利通貨マザーファンド

投資対象通貨はオーストラリアドル、ニュージーランドドル、メキシコペソ、南アフリカランド、インドネシアルピア、インドルピー、マレーシアリングット、ブラジルレアルの8通貨を維持しました。組入債券については、ソブリン債(国債、政府機関債、国際機関債等)へ投資しました。

ベンチマークとの差異について(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	(0.35%)	(0.36%)	(0.36%)	(0.37%)	(0.38%)	(0.37%)
当期の収益	15	14	15	14	15	15
当期の収益以外	-	0	-	0	-	-
翌期繰越分配対象額	258	258	258	258	259	260

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨を複数選定し、原則として選定した通貨建ての債券へ実質的に投資することにより、安定したインカム収入の確保を目指して運用を行います。

高金利通貨マザーファンド

新興国を含む相対的に金利水準の高い国々では、インフレ率の上昇に頭打ち感がみられる国も広がり、各国の中央銀行は経済面への影響に注視しつつ、利上げペースは相応に抑制されるものとみられます。また、相対的に高い金利水準が新興国への投資を促し、新興国の債券相場や為替相場を下支えしていくものと考えています。

当ファンドでは新興国を含む相対的に金利水準の高い通貨 8 通貨を選定し、選定した通貨建ての債券へ投資することにより、

安定したインカム収入の確保を目指します。ポートフォリオはオーストラリアドル、ニュージーランドドル、メキシコペソ、南アフリカランド、インドネシアルピア、インドルピー、マレーシアリングgit、ブラジルレアルの 8 通貨への投資と、ソブリン債(国債、政府機関債、国際機関債等)への投資を基本とする方針です。定期的に行う選定通貨の見直しにおいては、自動的に金利の高い通貨を上位から選定するのではなく、市場流動性・規模、ファンダメンタルズ(基礎的条件)、投資規制等を勘案して相対的に金利水準の高い通貨を選定します。選定した通貨建ての債券においては、各国市場の金融政策の織り込み度合い、利回り曲線の形状などを勘案しながら、デュレーション*コントロールを行う方針です。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い(大きい)ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

高金利通貨オープン【愛称：ワールドエイト】

1万口当たりの費用明細(2022年8月16日から2023年2月14日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	24円	0.572%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,117円です。
(投信会社)	(11)	(0.275)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(11)	(0.275)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.021)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.019)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送戻金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	24	0.595	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

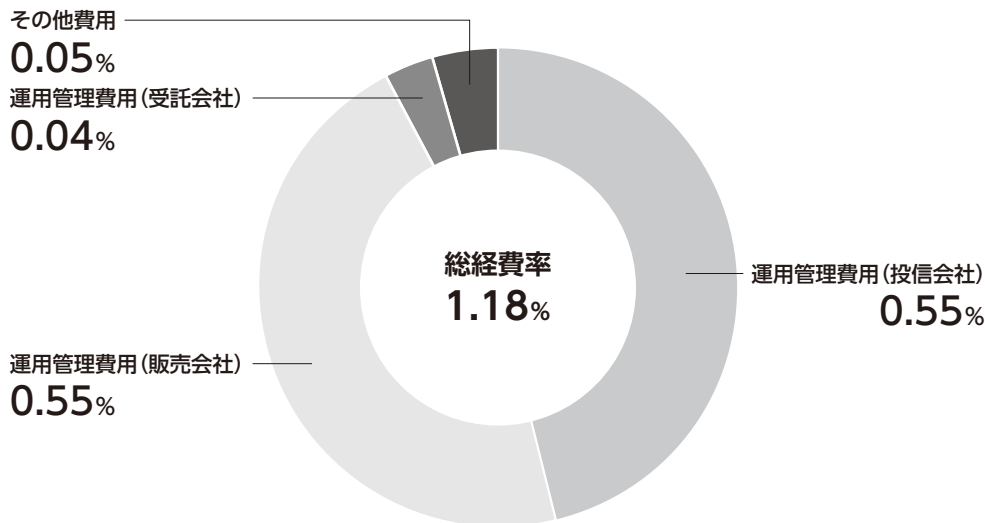
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.18%です。

高金利通貨オープン【愛称：ワールドエイト】

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2022年8月16日から2023年2月14日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利通貨マザーファンド	千口 10,690	千円 13,463	千口 164,975	千円 208,008

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年8月16日から2023年2月14日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年8月16日から2023年2月14日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年2月14日現在)

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首		作 成 期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
高金利通貨マザーファンド	千口 1,978,169		千口 1,823,885	千円 2,264,170

※高金利通貨マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,823,885,019口です。

高金利通貨オープン【愛称：ワールドエイト】

■ 投資信託財産の構成

(2023年2月14日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
高金利通貨マザーファンド	千円 2,264,170	% 98.5
コール・ローン等、その他	34,589	1.5
投資信託財産総額	2,298,760	100.0

※高金利通貨マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（2,247,891千円）の投資信託財産総額（2,296,476千円）に対する比率は97.9%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=132.32円、1オーストラリア・ドル=92.20円、1ニュージーランド・ドル=84.21円、1トルコ・リラ=7.02円、1ノルウェー・クローネ=13.12円、1メキシコ・ペソ=7.128円、1インド・ルピー=1.61円、100インドネシア・ルピア=0.87円、1ブラジル・レアル=25.583円、1マレーシア・リンギット=30.412円、1南アフリカ・ランド=7.41円、1ポーランド・ズロチ=29.659円、100ハンガリー・フォリント=37.113円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年9月14日) (2022年10月14日) (2022年11月14日) (2022年12月14日) (2023年1月16日) (2023年2月14日)

項 目	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末
(A) 資 産	2,576,897,069円	2,490,307,217円	2,421,343,490円	2,350,552,987円	2,270,547,011円	2,298,760,159円
コール・ローン等	2,706,923	2,249,806	2,257,098	2,336,562	2,288,504	2,324,018
高金利通貨マザーファンド(評価額)	2,560,433,947	2,476,864,234	2,407,440,269	2,336,888,762	2,257,258,662	2,264,170,862
未 収 入 金	13,756,199	11,193,177	11,646,123	11,327,663	10,999,845	32,265,279
(B) 負 債	20,036,380	11,230,908	11,692,966	11,642,923	11,096,365	32,551,761
未払収益分配金	8,884,718	8,845,584	8,800,980	8,682,317	8,611,088	8,511,573
未 払 解 約 金	8,772,828	—	405,767	628,757	—	21,826,477
未 払 信 託 報 酬	2,356,193	2,340,199	2,417,857	2,241,940	2,372,575	2,081,014
その他未払費用	22,641	45,125	68,362	89,909	112,702	132,697
(C) 純資産総額(A-B)	2,556,860,689	2,479,076,309	2,409,650,524	2,338,910,064	2,259,450,646	2,266,208,398
元 本	5,923,145,458	5,897,056,138	5,867,320,127	5,788,211,430	5,740,725,422	5,674,382,337
次期繰越損益金	△3,366,284,769	△3,417,979,829	△3,457,669,603	△3,449,301,366	△3,481,274,776	△3,408,173,939
(D) 受益権総口数	5,923,145,458口	5,897,056,138口	5,867,320,127口	5,788,211,430口	5,740,725,422口	5,674,382,337口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,317円	4,204円	4,107円	4,041円	3,936円	3,994円

※当作成期における作成期首元本額5,981,663,020円、作成期中追加設定元本額42,389,400円、作成期中一部解約元本額349,670,083円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

高金利通貨オープン【愛称：ワールドエイト】

■ 損益の状況

	〔自2022年8月16日〕 〔至2022年9月14日〕	〔自2022年9月15日〕 〔至2022年10月14日〕	〔自2022年10月15日〕 〔至2022年11月14日〕	〔自2022年11月15日〕 〔至2022年12月14日〕	〔自2022年12月15日〕 〔至2023年1月16日〕	〔自2023年1月17日〕 〔至2023年2月14日〕
項 目	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 67円	△ 90円	△ 102円	△ 138円	△ 118円	△ 29円
受 取 利 息	-	2	-	-	3	2
支 払 利 息	△ 67	△ 92	△ 102	△ 138	△ 121	△ 31
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	124,950,108	△ 55,320,664	△ 45,697,062	△ 27,338,050	△ 49,280,693	43,455,202
売 買 益	125,904,176	463,530	92,535	106,384	192,420	43,926,873
売 買 損	△ 954,068	△ 55,784,194	△ 45,789,597	△ 27,444,434	△ 49,473,113	△ 471,671
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,378,834	△ 2,362,683	△ 2,441,094	△ 2,263,487	△ 2,395,372	△ 2,101,009
(D) 当 期 損 益 (A + B + C)	122,571,207	△ 57,683,437	△ 48,138,258	△ 29,601,675	△ 51,676,183	41,354,164
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,430,256,938	△ 2,304,066,314	△ 2,356,192,802	△ 2,377,740,669	△ 2,393,035,205	△ 2,421,900,584
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,049,714,320	△ 1,047,384,494	△ 1,044,537,563	△ 1,033,276,705	△ 1,027,952,300	△ 1,019,115,946
(配当等相当額)	(24,630,186)	(24,656,931)	(24,669,627)	(24,492,430)	(24,461,264)	(24,340,041)
(売買損益相当額)	(△ 1,074,344,506)	(△ 1,072,041,425)	(△ 1,069,207,190)	(△ 1,057,769,135)	(△ 1,052,413,564)	(△ 1,043,455,987)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 3,357,400,051	△ 3,409,134,245	△ 3,448,868,623	△ 3,440,619,049	△ 3,472,663,688	△ 3,399,662,366
(H) 収 益 分 配 金	△ 8,884,718	△ 8,845,584	△ 8,800,980	△ 8,682,317	△ 8,611,088	△ 8,511,573
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 3,366,284,769	△ 3,417,979,829	△ 3,457,669,603	△ 3,449,301,366	△ 3,481,274,776	△ 3,408,173,939
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,049,714,320	△ 1,047,384,494	△ 1,044,537,563	△ 1,033,276,705	△ 1,027,952,300	△ 1,019,115,946
(配当等相当額)	(24,638,634)	(24,662,811)	(24,676,282)	(24,499,245)	(24,468,501)	(24,346,474)
(売買損益相当額)	(△ 1,074,352,954)	(△ 1,072,047,305)	(△ 1,069,213,845)	(△ 1,057,775,950)	(△ 1,052,420,801)	(△ 1,043,462,420)
分 配 準 備 積 立 金	128,349,810	127,648,112	127,271,798	125,167,143	124,272,365	123,660,914
繰 越 損 益 金	△ 2,444,920,259	△ 2,498,243,447	△ 2,540,403,838	△ 2,541,191,804	△ 2,577,594,841	△ 2,512,718,907

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,049,452円	8,823,212円	9,186,850円	8,410,721円	8,884,247円	9,468,233円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	24,638,634	24,662,811	24,676,282	24,499,245	24,468,501	24,346,474
(d) 分配準備積立金	126,185,076	127,670,484	126,885,928	125,438,739	123,999,206	122,704,254
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	161,873,162	161,156,507	160,749,060	158,348,705	157,351,954	156,518,961
1万口当たり当期分配対象額	273.29	273.28	273.97	273.57	274.10	275.83
(f) 分配金	8,884,718	8,845,584	8,800,980	8,682,317	8,611,088	8,511,573
1万口当たり分配金	15	15	15	15	15	15

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

高金利通貨マザーファンド

第15期（2022年2月15日から2023年2月14日まで）

信託期間	無期限（設定日：2008年2月18日）
運用方針	■新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨を複数選定し、原則として選定した通貨建ての債券へ投資することにより、安定したインカム収入の確保を目指します。 ■外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
11期（2019年2月14日）	10,636		△ 1.8	91.6	3,712
12期（2020年2月14日）	10,967		3.1	91.8	3,285
13期（2021年2月15日）	10,966		△ 0.0	90.2	2,745
14期（2022年2月14日）	11,055		0.8	93.7	2,376
15期（2023年2月14日）	12,414		12.3	97.0	2,264

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

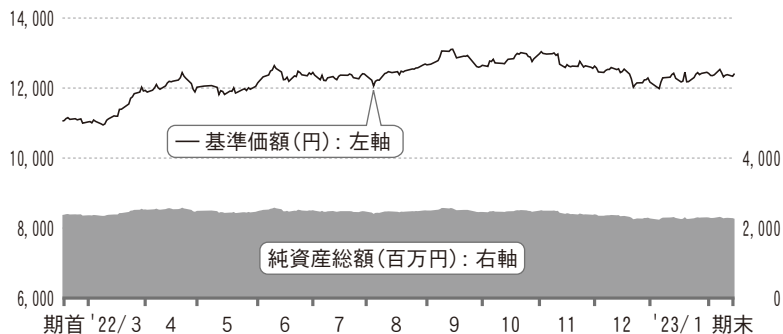
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 組 入 社 比 債 率
		騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2022年 2月14日	円 11,055	% —		% 93.7
2 月末	11,034	△ 0.2		93.7
3 月末	11,936	8.0		94.5
4 月末	12,027	8.8		94.3
5 月末	12,149	9.9		91.4
6 月末	12,445	12.6		93.4
7 月末	12,356	11.8		93.8
8 月末	12,664	14.6		94.6
9 月末	12,652	14.4		95.7
10 月末	12,980	17.4		95.0
11 月末	12,627	14.2		94.5
12 月末	12,170	10.1		95.3
2023年 1 月末	12,419	12.3		95.7
(期 末) 2023年 2月14日	12,414	12.3		97.0

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2022年2月15日から2023年2月14日まで）

基準価額等の推移



期首	11,055円
期末	12,414円
騰落率	+12.3%

▶ 基準価額の主な変動要因（2022年2月15日から2023年2月14日まで）

当ファンドは、新興国を含む世界の中で相対的に金利水準の高い通貨を複数選定し、原則として選定した通貨建ての債券へ投資しました。

上昇要因

- ・保有している債券からインカム収入を得たこと
- ・為替市場が対円で概ね上昇したこと

下落要因

- ・債券市場が下落（金利が上昇）したこと

▶ 投資環境について (2022年2月15日から2023年2月14日まで)

期間における債券市場は下落しました。また、為替市場は対円で概ね上昇しました。

債券市場

組入国の債券市場は下落しました。主要中央銀行による金融政策の正常化が意識されたことでグローバルな金利上昇がみられ、新興国の金利も上昇基調となりました。その後は急激な金融引き締めが景気減速につながるとの懸念が意識されたことや、インフレのピークアウトが意識されたことなどから金利が低下する場面もみられ、もみ合う展開となりました。

為替市場

組入国の為替市場は、日本銀行による緩和的な金融政策を背景に円が弱含むなか、金利の上昇などを背景に概ね上昇する展開となりました。

▶ ポートフォリオについて (2022年2月15日から2023年2月14日まで)

投資対象通貨はオーストラリアドル、ニュージーランドドル、メキシコペソ、南アフリカランド、インドネシアルピア、インドルピー、トルコリラ、ブラジルレアルの8通貨としていましたが、2022年3月の選定通貨の見直しに伴い、インフレ率の大幅上昇と景気低迷が懸念されるトルコリラから、高い経済成長率を維持するとみられるマレーシアリングgitへの入れ替えを実施しました。組入債券については、ソブリン債（国債、政府機関債、国際機関債等）へ投資しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2022年2月15日から2023年2月14日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

新興国を含む相対的に金利水準の高い国々では、インフレ率の上昇に頭打ち感がみられる国も広がり、各国の中央銀行は経済面への影響に注視しつつ、利上げペースは相応に抑制されるものとみられます。また、相対的に高い金利水準が新興国への投資を促し、新興国の債券相場や為替相場を下支えしていくものと考えています。

当ファンドでは新興国を含む相対的に金利水準の高い通貨8通貨を選定し、選定した通貨建ての債券へ投資することにより、安定したインカム収入の確保を目指します。ポートフォリオはオーストラリアドル、ニュージーランドドル、メキシコペソ、南アフリカランド、インドネシアルピア、インドルピー、マレーシアリングット、ブラジルレアルの8通貨への投資と、ソブリン債（国債、政府機関債、国際機関債等）への投資を基本とする方針です。定期的に行う選定通貨の見直しにおいては、自動的に金利の高い通貨を上位から選定するのではなく、市場流動性・規模、ファンダメンタルズ（基礎的条件）、投資規制等を勘案して相対的に金利水準の高い通貨を選定します。

選定した通貨建ての債券においては、各国市場の金融政策の織り込み度合い、利回り曲線の形状などを勘案しながら、デュレーション*コントロールを行う方針です。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

■ 1万口当たりの費用明細（2022年2月15日から2023年2月14日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (保管費用)	5円 (5)	0.037% (0.037)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	5	0.037	

期中の平均基準価額は12,289円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

高金利通貨マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年2月15日から2023年2月14日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア	特 殊 債 券	千オーストラリア・ドル 1,556	千オーストラリア・ドル 1,825
	ニュージーランド	特 殊 債 券	千ニュージーランド・ドル 872	千ニュージーランド・ドル 1,297
	トルコ	特 殊 債 券	千トルコ・リラ -	千トルコ・リラ 18,938
	メキシコ	特 殊 債 券	千メキシコ・ペソ 21,608	千メキシコ・ペソ 28,446
	インド	特 殊 債 券	千インド・ルピー 88,596	千インド・ルピー 99,980
	インドネシア	特 殊 債 券	千インドネシア・ルピア 33,125,750	千インドネシア・ルピア 35,588,550
	ブラジル	特 殊 債 券	千ブラジル・レアル 10,819	千ブラジル・レアル 13,826
	マレーシア	国 債 証 券	千マレーシア・リングgit 8,660	千マレーシア・リングgit -
	南アフリカ	特 殊 債 券	千南アフリカ・ランド 5,145	千南アフリカ・ランド 10,064

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年2月15日から2023年2月14日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年2月15日から2023年2月14日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

高金利通貨マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2023年2月14日現在)

公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 3,200	千オーストラリア・ドル 3,091	千円 285,071	% 12.6	% -	% 0.8	% -	% 11.8
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 3,400	千ニュージーランド・ドル 3,222	271,338	12.0	-	-	3.3	8.7
メキシコ	千メキシコ・ペソ 43,000	千メキシコ・ペソ 39,629	282,485	12.5	-	-	4.3	8.2
インド	千インド・ルピー 180,000	千インド・ルピー 177,183	285,264	12.6	-	-	-	12.6
インドネシア	千インドネシア・ルピア 35,000,000	千インドネシア・ルピア 33,437,250	290,904	12.8	-	-	12.8	-
ブラジル	千ブラジル・レアル 11,000	千ブラジル・レアル 10,483	268,187	11.8	-	-	11.8	-
マレーシア	千マレーシア・リンギット 8,500	千マレーシア・リンギット 8,577	260,860	11.5	-	-	6.8	4.7
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 34,000	千南アフリカ・ランド 34,160	253,131	11.2	-	-	5.6	5.6
合 計	-	-	2,197,243	97.0	-	0.8	44.7	51.6

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

区 分	銘 柄	種 類	期				末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
オーストラリア	NEW S WALES TREASURY CRP INT BK RECON & DEVELOP INTL FINANCE CORP EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円		
			5.0000	200	203	18,742	2024/08/20	
			2.2000	700	686	63,326	2024/02/27	
			3.1500	200	185	17,081	2029/06/26	
			1.7000	2,100	2,016	185,921	2024/11/15	
小 計			3,200	3,091	285,071	-		
ニュージーランド	INTL FINANCE CORP INTER-AMERICAN DEVEL BK	特 殊 債 券 特 殊 債 券	%	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル	千円		
			1.5000	1,000	890	74,962	2026/07/27	
			3.5000	2,400	2,331	196,376	2024/07/26	
小 計			3,400	3,222	271,338	-		

高金利通貨マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	期 末				
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
メ キ シ コ	INTL FINANCE CORP	特 殊 債 券	% 7.0000	千メキシコ・ペソ 15,000	千メキシコ・ペソ 13,587	千円 96,849	2027/07/20
	INTER-AMERICAN DEVEL BK	特 殊 債 券	7.5000	28,000	26,042	185,635	2024/12/05
小 計				43,000	39,629	282,485	—
イ ン ド	INTL FINANCE CORP	特 殊 債 券	% 6.3000	千インド・ルピー 180,000	千インド・ルピー 177,183	千円 285,264	2024/11/25
	小 計			180,000	177,183	285,264	—
イ ン ド ネ シ ア	INT BK RECON & DEVELOP	特 殊 債 券	% 4.5000	千インドネシア・ルピア 35,000,000	千インドネシア・ルピア 33,437,250	千円 290,904	2026/04/15
	小 計			35,000,000	33,437,250	290,904	—
ブ ラ ジ ル	INT BK RECON & DEVELOP	特 殊 債 券	% 9.5000	千ブラジル・レアル 11,000	千ブラジル・レアル 10,483	千円 268,187	2026/01/20
	小 計			11,000	10,483	268,187	—
マ レ ー シ ア	MALAYSIA GOVT	国 債 証 券	% 3.4780	千マレーシア・リンギット 3,500	千マレーシア・リンギット 3,508	千円 106,716	2024/06/14
	MALAYSIA GOVT	国 債 証 券	3.9000	5,000	5,068	154,144	2026/11/30
小 計				8,500	8,577	260,860	—
南 ア フ リ カ	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	% 8.0000	千南アフリカ・ランド 17,000	千南アフリカ・ランド 16,997	千円 125,951	2027/05/05
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	8.5000	17,000	17,163	127,180	2024/09/17
小 計				34,000	34,160	253,131	—
合 計				—	—	2,197,243	—

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

高金利通貨マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2023年2月14日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,197,243	% 95.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99,233	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	2,296,476	100.0

※期末における外貨建資産（2,247,891千円）の投資信託財産総額（2,296,476千円）に対する比率は97.9%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=132.32円、1オーストラリア・ドル=92.20円、1ニュージーランド・ドル=84.21円、1トルコ・リラ=7.02円、1ノルウェー・クローネ=13.12円、1メキシコ・ペソ=7.128円、1インド・ルピー=1.61円、100インドネシア・ルピア=0.87円、1ブラジル・レアル=25.583円、1マレーシア・リングgit=30.412円、1南アフリカ・ランド=7.41円、1ポーランド・ズロチ=29.659円、100ハンガリー・フォリント=37.113円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年2月14日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,296,476,613円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	58,124,839
公 社 債(評価額)	2,197,243,362
未 収 利 息	38,367,912
前 払 費 用	2,740,500
(B) 負 債	32,265,368
未 払 解 約 金	32,265,279
そ の 他 未 払 費 用	89
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,264,211,245
元 本	1,823,885,019
次 期 繰 越 損 益 金	440,326,226
(D) 受 益 権 総 口 数	1,823,885,019口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	12,414円

※当期における期首元本額2,149,802,781円、期中追加設定元本額21,144,741円、期中一部解約元本額347,062,503円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は、高金利通貨オープン1,823,885,019円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年2月15日 至2023年2月14日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	137,853,468円
受 取 利 息	137,864,164
支 払 利 息	△ 10,696
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	152,231,090
売 買 益	275,072,205
売 買 損	△122,841,115
(C) そ の 他 費 用 等	△ 910,932
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	289,173,626
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	226,859,183
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 80,152,595
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,446,012
(H) 合 計 (D + E + F + G)	440,326,226
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	440,326,226

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。